

# サンカルロス市

## を訪問しました

松本崇市長らが、7月11日～14日まで、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンカルロス市との姉妹都市提携の可能性を調査するため訪米しました。

同市は、サンフランシスコ国際空港まで約18km、サンフランシスコ市内まで約40kmで、近隣には世界的に有名なスタンフォード大学やカリフォルニア大学があるなど、恵まれた環境に置かれています。面積は大村市の8分の1程度で、人口は約2万9千人。日本の都市との姉妹都市提携を希望していました。

大村市も英語圏との交流を模索していたことから、サンカルロス市姉妹都市協会と情報交換を続けてきました。

今回の訪問で市役所を訪れ、ア

姉妹都市提携に向けて  
サンカルロス市訪問



ンデイクライン・サンカルロス市長を表敬訪問し意見交換を行ったほか、市内の市立図書館や歴史博物館などを視察しました。

サンカルロスは、閑静な住宅街を主としたコンパクトシティという印象で、いたるところに緑の木々が多く美しいまちです。

また、住民による歓迎会に招待されるなど、姉妹都市提携に向けての気運も盛り上がっています。

今後、両市がそれぞれ市民や議会の皆さんのご理解をいただきながら、来年の正式な提携調印へ向けて努力を続け、将来、ホームステイや文化交流などを育んでいける関係を期待しています。



姉妹都市協会主催の歓迎会



歴史博物館



スタンフォード大学



### 形だけでなく実のある交流に...



市長コラム  
vol.1

近年、地方都市では国際交流が盛んになってきています。これは、国と国との交流も大事ですが、地方と地方の交流こそが世界平和という高い理想につながると私は確信しています。

これまで大村市は1984年に海外の友好都市として旧上海県(1993年上海市閔行区として再締結)、そして1997年に天正遣欧使節ゆかりの地であるポルトガル共和国シントラ市と姉妹都市を結び、中・高生の相互ホームステイ事業など国際交流を続けてきました。さらに私どもは、3番目の国際姉妹都市として米国カリフォルニア州サンカルロス市を検討しています。

その理由は、サンカルロス市側も日本のどこかと姉妹都市を結びたいと外務省を通じて、探していた事もあります。私は常日頃から英語圏の国に定期的な中高生をホームステイさせたいと考えていました。サンカルロス市は距離的に非常に近く約10時間で両市を結んでおり、市民と市民の交流、ひいては経済の交流につながるかと確信したからです。

来年、市制施行70周年の年に、サンカルロス市と姉妹都市を結び、形だけではなく、実のある交流にしたいと考えています。